

公法（憲法・行政法）問題紙

A 日程

平成 20 年 10 月 26 日

13 : 30 ~ 15 : 30 (120 分)

(160 点)

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、問題を開いてはいけない。
2. 公法の問題紙は 1 ページから 2 ページである。

科 目 名	ペ ー ジ
憲 法	1
行 政 法	2

3. 解答用紙は、3 枚である。解答用紙の追加は認めない。

科 目 名	枚 数	配 点
憲 法	2 枚	100 点
行 政 法	1 枚	60 点
合 計	3 枚	160 点

4. 解答用紙は 3 枚ともかならず提出すること。
5. 監督者の指示に従い、すべての解答用紙に受験番号と氏名を記入すること。
6. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
7. 試験終了まで退室してはいけない。

憲 法

(配点 100 点)

問題 1 (60 点)

憲法 25 条の生存権が定住外国人に対して保障されるか否かについて論じなさい。

注記

定住外国人とは、「日本社会に生活の本拠をもち、その点では日本に居住する日本国民と同等の立場にあるが、日本国籍を有しない者」を指すものとする。

問題 2 (40 点)

天皇が国会の開会式に出席して「おことば」を述べる行為は憲法に違反するか否かについて、天皇の地位と関連づけて論じなさい。

行政法

(配点 60 点)

問題

次の文を行政法学の観点から論評せよ。論評に当たっては、下記の語群のうちから6つ以上の語を使用すること

「A県教育委員会は、教員の採用試験に当たり、外部から採用の働きかけがあった受験者が合格点に達しない場合、点数のかさ上げを行い合格者とする不正を毎年行ってきた。平成20年にこのことが外部に知られたことから、A教育委員会は、点数改ざんの記録が残っていた平成20年の不正合格者21名に対してのみ、辞表の提出を求めるとともに、辞表を提出しない者は採用を取り消すと通知した。その結果16名の者は辞表を提出した。A教育委員会は、16名について退職を承認し、残り5名の採用を取り消した。」

[語群]

法治主義、比例原則、平等原則、行政立法、行政行為、行政指導、事実行為、瑕疵、職権取消、撤回、取消権の制限、撤回権の制限